

## 第4 いわき出張所

### (1) 被災者に対する健康支援

#### 1 被災者健康サポート事業【全庁重点・所重点】

借上住宅等で生活している被災者等が健康的な生活を維持できるよう、避難元市町村及びいわき市と連携しながら、健康支援活動の実施体制を整備するとともに、健康状態の悪化予防や健康不安の解消に向けた健康支援活動を実施しました。

#### (1) 仮設住宅・借上住宅・復興公営住宅等への家庭訪問

市町村からの依頼を受け、家庭訪問により、健康状態の把握を行い、健康相談、継続支援活動等を実施しました。

#### ■家庭訪問等

単位：人

市町村	仮設住宅	借上住宅	復興公営住宅	個別相談	計
南相馬市	0	48	0	15	63
広野町	3	4	0	2	9
檜葉町	3	1	0	2	6
富岡町	3	39	8	2	52
大熊町	0	5	6	0	11
双葉町	2	43	8	10	63
浪江町	0	100	98	34	232
計	11	240	120	65	436

#### (2) 健康教育・健康相談会等の実施支援

市町村等が実施する交流会、サロン等に、保健師、看護師、管理栄養士等を派遣し、避難者の健康の保持・増進や介護予防等の活動を支援しました。

実施回数：延べ81回

参加人数：延べ1,497人

#### ■市町村等主催サロン・健康相談会への専門職の派遣状況

市町村等	回数 回	内容	参加者 人
広野町	2	乳幼児健診・離乳食教室	29
檜葉町	2	総合健診・健診結果返却会	117
富岡町	50	健診結果返却会・男の料理教室・栄養サロン 介護予防教室・親子交流会	1,081
川内村	3	健診結果返却会	97

市町村等	回数 回	内 容	参加者 人
大熊町	2	栄養サロン	17
双葉町	12	健診結果返却説明会・栄養相談・栄養サロン	73
いわき市内の復興公営住宅 下神白団地、湯長谷団 地、宮沢団地	10	介護予防活動・健康相談	83
計	81		1,497

### (3) 市町村事業の協力支援

平成 26 年度から市町村の依頼を受けて、特定健康診査を受けた 40～74 歳の方の一部について、情報提供、動機付け及び積極的支援が必要な人へ家庭訪問又は電話指導等により特定保健指導を実施しました。

#### ■特定保健指導実施状況

単位：人

市町村	平成 28 年度 特定健康診査受診者			平成 29 年度 特定健康診査受診者			平成 29 年度 計
	情報 提供	動機付 け支援	積極的 支援	情報 提供	動機付 け支援	積極的 支援	
南相馬市	4	1	0	0	1	0	1
双葉町	25	18	0	0	19	8	27
浪江町	0	19	0	0	19	5	24
計	29	38	0	0	39	13	52

※ 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月の間に訪問、電話、郵送等で支援した対象者数。

※ 平成 29 年度は、平成 28 年度に依頼があった特定保健指導の最終評価等、平成 29 年度特定保健指導の初回面談を実施。

### (4) 被災した障がい児・者の健康支援に係る関係機関との連携

#### ア 相双地域障がい児・者支援関係者会議の開催

いわき地域に避難している障がい児・者の対応について、関係機関等が抱える問題や支援体制確保のための課題などについて、情報共有や課題検討を行いました。

■相双地域障がい児・者支援関係者会議の開催状況

開催月日	参加団体（随時参加の団体も含む）
平成 29 年 6 月 5 日	基幹相談支援センター 相談支援双葉事業所 相談支援事業所ふくいん ふくしま心のケアセンターいわき方部センター 富岡支援学校 いわき市・南相馬市・広野町・富岡町・大熊町・双葉町・浪江町

イ 双葉地方地域自立支援協議会との連携

いわき地域の課題について、双葉地方地域自立支援協議会構成機関等と情報を共有し、福祉支援体制の充実に向けて協議するため、自立支援協議会くらし部会に参画しました。

■双葉地方自立支援協議会への参加状況

会議名	参加月日
自立支援協議会くらし部会	平成 29 年 7 月 12 日、9 月 8 日、 11 月 9 日、平成 30 年 1 月 31 日、 3 月 20 日

ウ 療育支援に係る福祉担当者会議の開催

障がい児の療育体制整備及び通所施設の不足等の課題について、障がい児の日中一時支援、放課後等デイサービスの事業継続に向けて調整、検討するため、関係機関を招集し、担当者会議を開催しました。

■会議の実施状況

開催月日	参加機関
平成 29 年 9 月 28 日	社会福祉法人希望の杜福祉会 大熊町・檜葉町 福島復興局
平成 29 年 11 月 22 日	本庁児童家庭課 のんびりハウス 富岡町・大熊町 福島復興局
平成 30 年 2 月 27 日	本庁児童家庭課 基幹相談支援センター 相談支援双葉事業所 のんびりハウス 檜葉町・富岡町・大熊町

## 2 被災者の心のケア事業【全庁重点・所重点】

### (1) 巡回訪問等の支援活動

被災者支援を円滑に行えるよう、ふくしま心のケアセンターいわき方部センター（以下、「ふくしま心のケアセンター」という。）と会議・打ち合わせを行うとともに、被災者の PTSD（心的外傷後ストレス障害）やうつ病、アルコール問題等の心の問題に対応するため、同行訪問を行いました。

また、被災者支援に携わる生活支援相談員等の支援者自身が健康な状態を保ちながら支援活動に取り組むとともに、専門的知識や対応についての理解を深めることを目的としてふくしま心のケアセンターとの共催により研修を行いました。

ふくしま心のケアセンターと会議・打合せ：4回

同行訪問：延べ19人

研修会等出席：2回

研修会等実施：1回

#### ■研修会の実施状況

単位：人

開催月日	内容	参加者
平成30年2月1日	「自殺予防と支援者の心のケア～幸福度と健康の視点から～」	56

※ふくしま心のケアセンターと共催

### (2) グループミーティングの実施

住民と直接関わる機会の多い双葉町生活支援相談員を対象に、情報を共有しつつ日頃の悩みや困りごとを話し、必要時に専門職から助言・指導を行い問題解決につながるよう支援することを目的として、ふくしま心のケアセンターと協力しグループミーティングを実施しました。

双葉町生活支援相談員：3回 延べ24人

## (2) 被災者支援に係る市町村等との連携

### 1 被災者支援に係る市町村等との連携強化事業【所重点】

#### (1) 避難元市町村及びいわき市との連携業務

##### ア 市町村との打合せ

避難者に対する健康支援活動が効果的に実施できるよう、避難元市町村及びいわき市と情報交換や課題の整理、対応策の検討等を行いました。

■市町村との打合せ回数

単位：回

市町村	南相馬市	広野町	楡葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	いわき市	計
回数	1	3	4	5	1	6	6	5	4	35

イ 市町村ケア会議への参加

市町村またはいわき出張所が訪問したケースについて、情報共有、今後の方針について話し合うために、市町村が開催するケア会議に参加しました。

■ケア会議の参加回数

単位：回

町	楡葉町	富岡町	大熊町	双葉町	浪江町	計
回数	7	6	6	6	10	35

ウ 保健事業担当者会議の開催

いわき地域に避難している住民への健康支援の調整を図るため、南相馬市、双葉郡町村、いわき市及びふくしま心のケアセンターなどを招集し、会議を開催しました。

■保健事業担当者会議の開催状況

単位：人

開催月日	議 題	参加者
平成 29 年 4 月 28 日	① 平成 29 年度いわき出張所における健康支援予定について ② 各市町村のいわき地域における保健事業予定及び相双保健福祉事務所いわき出張所に対する要望等について ③ ふくしま心のケアセンターいわき方部センターの活動について	35
平成 30 年 2 月 19 日	① 平成 30 年度いわき出張所における事業予定について ② 平成 30 年度いわき地域における各市町村の健康支援体制について	17

また、復興公営住宅入居者に対する健康支援の調整を図るため、4 町（富岡町、大熊町・双葉町・浪江町）、NPO 法人みんぶくなどを招集し、会議を開催しました。

■復興公営住宅入居者支援実務者会議の開催状況

開催月日	議 題
平成 29 年 6 月 13 日	① 下神白、湯長谷団地集会所における健康づくり、介護予防推進事業の実施状況について ② いわき市“つどいの場”について ③ 今後の復興公営住宅集会所における健康づくり、介護予防推進事業の方向性について
平成 30 年 2 月 7 日	① 平成 29 年度復興公営住宅集会所における健康づくり、介護予防推進事業の実施状況及び今後の方向性について ② 復興公営住宅入居者支援における課題及び今後の支援体制について

(2) 各関係機関との連絡調整業務

施設や他の支援団体等の関係機関等との連携や情報交換をとoshi、避難者の課題やニーズの把握に努め、課題の整理や関係機関間の調整を行いました。

関係機関、団体主催の会議への参加：13 回

2 被災者支援に係る 4 町(富岡町、大熊町、双葉町及び浪江町)連携事業(介護予防等事業)

本所では、関係町の担当者を対象とした会議を開催し、介護予防事業相互利用についての調整の場を設けるなどの支援を行いました。被災者支援に係る 4 町では事業相互利用が実施され、他町から延べ 160 人、4 町以外の住民も含めると 299 人が参加しました。

■介護予防関係実務者会議の開催状況

単位：人

開催月日	議 題	参加者
平成 30 年 2 月 19 日	① 平成 29 年度 4 町連携介護予防等事業の実施状況について ② 平成 30 年度事業実施の方向性等について	17

**(3) 母子保健対策の推進**

1 子ども健やか訪問事業

震災により、避難生活を余儀なくされている子ども（1 歳児）の家庭を訪問し、心身の健康に関する相談、生活・育児に関する相談等に対応することにより、子育て家庭の不安の軽減を図りました。

■子ども健やか訪問実施件数

市町村	対象数 人	訪問実数 人	実施率 %
南相馬市	2	1(1)	50
富岡町	45	36(37)	80
大熊町	36	26(26)	72
浪江町	41	34(34)	83
計	124	97(98)	78

括弧内の数値は、訪問延べ人数。

2 市町村母子保健事業指導事務

(1) いわき市の乳幼児健康診査への協力

事後支援の必要な幼児等が増えている状況を踏まえ、いわき市が実施する 1 歳 6 か月児健康診査及び 3 歳児健康診査において、事後支援にかかる情報を現場から把握し、各市町村と連携して適切な支援に結びつけることを目的として、保健師の派遣を実施しました。

派遣回数：保健師 67 回

■いわき市乳幼児健康診査派遣回数

単位：回

年度	いわき出張所派遣回数					双葉郡町村 派遣回数※
	4 か月児	10 か月児	1 歳 6 か月児	3 歳児	計	
25	—	—	—	79	79	—
26	—	—	21	33	54	104
27	—	33	19	24	76	120
28	10	23	17	17	67	100
29	—	—	28	39	67	100

※広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町

(2) 相双地域あそびの教室の開催

発達の遅れやその疑いのある幼児の保護者が適切な養育を行えるよう、その保護者に対し心理的・技術的にサポートするため、子どもの心のケア事業による専門職派遣を活用し「相双地域あそびの教室」を開催しました。

相双地域あそびの教室開催回数：10 回

参加児数：延べ 47 人

子どもの心のケア事業による専門職派遣

派遣回数：10 回（延べ派遣人数 保育士 10 人、臨床心理士 9 人、医師 3 人）

■相双地域あそびの教室の実施状況

開催月日	内 容
平成 29 年 5 月 29 日	① 医師による相談・助言 ② 臨床心理士による相談及び発達検査 (ふくしま心のケアセンター) ③ 保育士による遊びの指導及び相談 ④ 保健師による相談 ⑤ その他、保護者に対して養育に必要な助言
6 月 26 日	
7 月 24 日	
8 月 28 日	
9 月 25 日	
10 月 30 日	
11 月 27 日	
12 月 25 日	
平成 30 年 1 月 22 日	
2 月 26 日	

(3) 被災した障がい児に対する医療支援事業（発達相談会）への協力

東日本大震災により被災した障がい児（その疑いのあるものを含む。以下、「障がい児等」という。）へ児童精神科医、小児科医による医療支援を行う発達相談会に市町村から要望があった際に同席し、個別事後フォローを行うとともに、いわき市内の支援体制や社会資源活用のための情報提供等を行いました。

参加回数：1回

■発達相談会への協力状況

開催月日	内 容
平成 29 年 7 月 6 日	① 診察 障がい児等を対象に診察を行う。 ② 支援者に対する助言等 障がい児等の支援者（保健師等）に対し、障がい児等の支援方法について助言等を行う。

3 母子の健康支援事業

安心して子どもを生き育てる環境を整備するため、妊産婦や乳幼児を持つ保護者を対象とした家庭訪問、電話や来所相談に対応しました。

4 小児慢性特定疾病対策事業

小児慢性疾患のうち、治療法の確立していない特定の疾患に罹患している児童に対し、治療研究に必要な費用を交付し、患者家族の医療費の負担を軽減する事業の受給児童に対する療養相談に対応しました。

訪問件数：1件

**(4) 保健医療体制の充実**

1 精神保健医療事業（精神障がい者の措置入院等）

精神障がいによる自傷他害のおそれ又はその疑いのある者を精神保健指定医に診察させ、その結果必要と認められる者を県立病院又は指定病院に入院させる事業ですが、双葉警察署管内で保護された者はいませんでした。



## 2 精神訪問指導事業

精神疾患の早期治療及び精神障がい者の社会復帰の促進を図るため、精神保健福祉に関する相談対応や訪問指導を行いました。

対応件数：157件（電話相談5件、訪問相談152件）

## (5) 自殺対策の充実

### 1 自殺対策緊急強化基金事業

#### (1) 普及啓発事業

自殺予防に関する普及啓発を図るため、9月及び3月の自殺予防週間に、家庭訪問やサロン等において啓発資材の配布等を行いました。

配布部数：200部

#### (2) 市町村人材育成事業

被災者の健康支援等に従事する市町村や関係機関の職員を対象とした研修を開催し、担当職員の資質の向上を図りました。

### ■研修会の実施状況

単位：人

研修会名	開催月日	参加者	対象
平成29年度自殺予防ゲートキーパー養成研修会	平成29年7月31日	63	生活支援相談員・民生児童委員・コミュニティ交流員・保健師・看護師等、市町村等関係機関担当者

## (6) 感染症対策の推進

### 1 感染症予防対策事業

市町村からの感染症予防に関する相談等に対応しました。

その他、いわき合同庁舎内でのポスターの掲示や家庭訪問やサロン等における啓発資材の配布等啓発活動を実施しました。

## (7) エイズ対策、肝炎対策の推進

### 1 エイズ対策促進事業

エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図るため、レッドリボンの配布等啓発活動を実施しました。

### 2 保健所における肝炎相談事業

肝炎の早期発見と患者・家族等の不安の軽減を図るため、電話及び来所での相談への対応を行いました。

相談対応件数：6件

## (8) 難病対策

### 1 難病在宅療養者支援体制整備事業

#### (1) 難病患者相談指導事業

いわき地域へ避難している難病患者の在宅療養を支援するため、保健師、栄養士等による家庭訪問等相談対応を行いました。(随時)

#### ■相談対応実施状況

- ・来所相談：延べ人数 241 人（実人数 178 人） 単位：人

実人数	延べ人数	相談内容（再掲・延べ人数）								
		申請等	医療	家庭介護	福祉制度	就労	就学	食事栄養	歯科	その他
178	241	237	0	0	0	0	0	1	1	2

- ・電話相談：延べ件数 24 件  
・家庭訪問：延べ件数 22 件（実 20 件）

#### (2) 難病患者医療相談事業

疾病等に対する不安や悩みを共有し、身体に優しい食事を楽しみ元気になってもらうために、管理栄養士による食事・栄養講話、調理実習、交流会、保健師、管理栄養士、臨床心理士、歯科衛生士による個別相談をいわき市内で開催しました。

#### ■医療相談事業の実施状況

単位：人

開催月日・会場	内容	対象疾患	参加者
平成 29 年 8 月 25 日 ガスワンキッチン 「ステラ」	① 食事・栄養講話、調理実習 ・「おいしくて胃腸に負担をかける ないレシピ！食べやすく、飲み 込みやすい工夫」 ・交流会（試食） 「食事の工夫についての情報交 換」 ② 個別相談	神経・消化 器系疾患の 難病	7

※スタッフ：福島学院大学短期大学部管理栄養士・心のケアセンター臨床心理士・  
保健師・管理栄養士・歯科衛生士・看護師

### 2 特定疾患治療研究事業

難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく医療費助成制度による指定難病（330 疾患）及び特定疾患治療研究事業の対象疾患（5 疾患）の治療研究を行うとともに医療費の自己負担の軽減を図るため、いわき地域における受給者証交付申請に関する事務を行いました。

## ■申請受理及び進達件数

単位：件

新規	更新	転入	変更等
21	131	0	49

### (9) 生活習慣病対策の推進

#### 1 生活習慣病予防啓発事業

「世界禁煙デー」、「禁煙週間」やたばこの健康影響などについて、庁内や復興公営住宅等でチラシの配布等啓発活動を行いました。

### (10) 各種免許の交付

#### 1 医師免許等の交付事務

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師等医療従事者の免許申請に係る事務を行いました。

准看護師免許書換申請進達件数：1件

看護師免許新規申請進達件数：2件

#### 2 栄養士・管理栄養士指導事業

栄養士・管理栄養士の免許申請に係る事務を行いました。

管理栄養士免許新規申請進達件数：1件

### (11) その他相談への対応

#### 1 不妊・不育症等で悩む方への支援事業

高度生殖医療（体外受精・顕微授精）による不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部助成に係る来所相談に対応しました。

来所相談件数：2件

#### 2 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

患者の医療負担の軽減を図り、精神的、身体的不安の解消を図るため、いわき地域における受給者証交付申請に関する事務を行いました。

申請件数：1件

#### 3 遷延性意識障害治療研究事業

遷延性意識障がい者の医療費の負担軽減を図る事業ですが、申請はありませんでした。